

地域課題一覧（R7度末）

資料3

番号		地域課題	解決策案	現況
1	継続的課題	強度行動障害を有する方の受入れ事業所が少ない。自宅以外での生活をするための居住先が見つからない。	・支援スキルを有する人材の配置 ⇒※県の研修修了人材の活用 ・強度行動障害支援者研修の継続実施 ・地域の理解促進 ⇒スムーズな受入れ体制の構築 ※仕組みづくりに向けた協議等が必要	【人材育成：拠点事業】 拠点事業における人材育成研修は実施中。
2		児童館（児童クラブ）は無理だから「放課後等デイサービス」ではなく児童館や児童クラブが早期に地区相談との連携を図り、大変だと思いうちに、相談できる体制が出来ていない。	・児童館・児童クラブ向けスキルアップ研修（状況・考え方の共有） ・市民講座実施 ・預かりの場と療育の場の違いの理解に向けた説明の場の設定（就学ガイダンス等） ・カウンセラーとの連携 ・地区相談の周知 ・児童発達支援センターと地区相談との連携	【こども部会】 障がい福祉課・こども育成課・部会との連携協議開始 関係機関との連携協議を進め、進捗状況を部会で共有予定。
3		①家庭内でこどもが暴れているとき、保護者がいつでも警察以外にも安心して相談できるような支援体制がない。	警察・こども家庭センター・児相等関係機関との連携強化	
		②不登校児の居場所と学びの場の提供が少ない。	・本人が安心して家から離れて過ごせる場所	【医療・教育・福祉で考える発達障がい児支援研修】2/20開催（自立支援協議会後援） こども部会で、支援体制充実に向けた検討予定。
4		教育と福祉で一緒にSLDの支援について考える機会や、支援者の養成を行う場がない。	・SLDの専門機関の設立と支援者の養成 ・教育と福祉（できれば医療）で一緒にSLDの支援について考える機会	【医療・教育・福祉で考える発達障がい児支援研修】12/25開催（自立支援協議会後援） ※福井市発達障がい相談支援事業所で継続的学び・周知の機会を企画。
5		普通高校における就労支援について	高校教育課における「意思決定支援」に関する研修の場等の導入検討依頼	【こども部会への課題提出案件】 ～県高校教育課からの回答～ ・特別支援学校等進路指導担当者連絡会での研修等は主催の労働局に依頼してほしい。 ・県立高校（特に定時制高校、商業高校）には、支援に困った時の相談先としてスクラム福井やふっとわーくの活用を進めている。
1	新規課題	精神疾患による過去の病院でのトラブルやそれによる風評が、福井市近郊の医療側から受け入れ拒否となり、緊急時で受診が必要な状態になった時に適切な処置や支援に繋がらない	地域課題抽出について、継続協議中	